

郵便局によるコミュニティビジネス創出支援モデルの開発と実践

～長崎県壱岐市におけるアクションリサーチ～

政 策 ・ メ デ ィ ア 研 究 科
修 士 課 程 2 年
生 田 遼 資
主 査 : 玉 村 雅 敏 先 生
副 査 : 宮 垣 元 先 生、清 水 た く み 先 生

研究の背景と目的

<社会的背景と課題の所在>

- ・人口減少、生産年齢人口減少による地域経済の縮小。地域課題の増加・多様化。
 - ➡解決策の一つとして期待される手法が、「コミュニティ・ビジネス(以下CBと略)」
- ・地域におけるCBの推進には、有能な中間支援機関の有無が鍵(ソーシャルビジネス推進研究会(2011))

<<一方で、中間支援組織の現状・課題>>

- ▲:「支援を行う組織にも地域的な偏りあり。」埴淵(2007)
 - 支援が必要な地域において、支援が不足。
- ▲:中間支援組織というモデル自体の脆弱性
 - ...「支援機能、人材活用、資金調達に課題を抱える」杉田(2009)
 - ...「支援の対価を支払う余裕がないことやそもそも支援には多くの時間と労力を必要とするため、一定の公的資金を投入することは必要不可欠」藤井(2008; 2010)

〒郵便局なら、中間支援組織の課題をクリアできるのでは？

- ・地域的な偏り
 - ➡全国に、約2万拠点(簡易局除く)存在。
- ・中間支援モデルの脆弱性
 - ➡中間支援以外の収益基盤あり。

＋α
かつては公共施設。今は営利企業という両方の視点。
地縁・血縁によるつながりあり(薄れつつあるとは言え...)。

「郵便局は、CB支援を行う中間支援組織に成り得るのか」
を明らかにする。

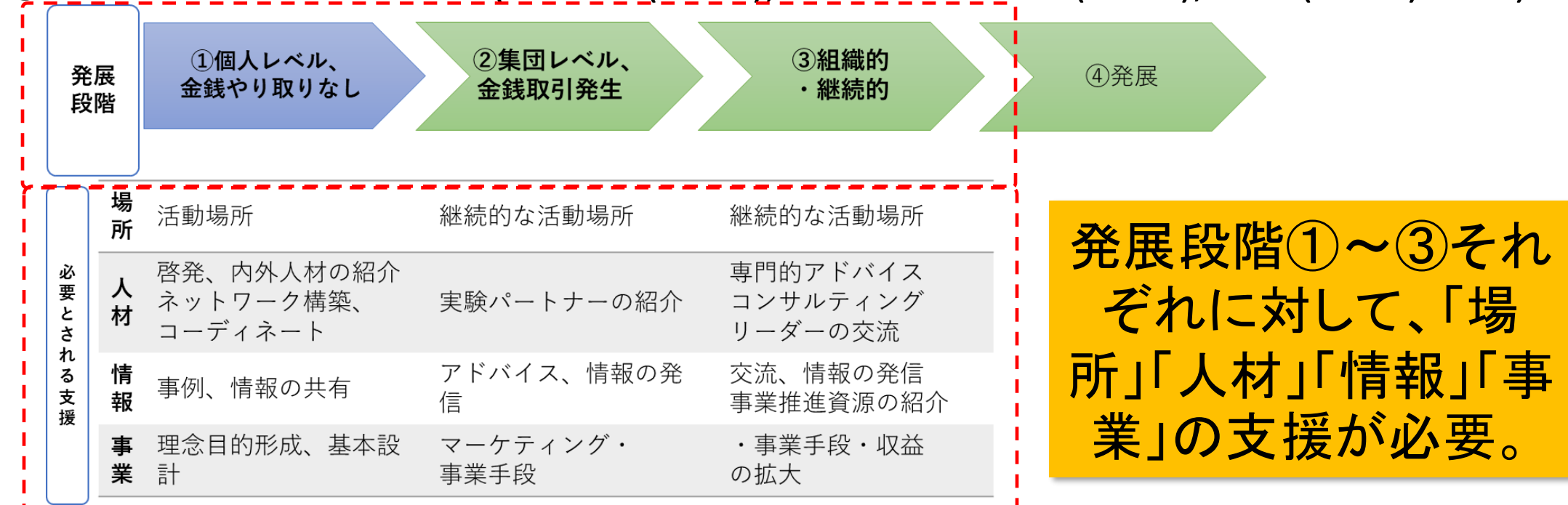
先行研究

① CBの定義(細内(1999,2001),金子(2003),経済産業省(2004),石田(2008)ほか)

- 1 地域にとっての意義、意味第一。
- 2 地域住民が活動主体。
- 3 活動資源:地域内資源を活用。
- 4 利益・継続性:できる限り地域に還元。できる限り継続的に事業を継続できるように活動。

➡本研究では、CBを地域のため(1)に、地域資源を活用(3)し、地域住民だけでなく、地場企業や域外事業者も主体になって取組むものと定義する。

② CBの発展段階と支援(経産省(2004),起業支援ネット(2004),神原(2005)ほか)

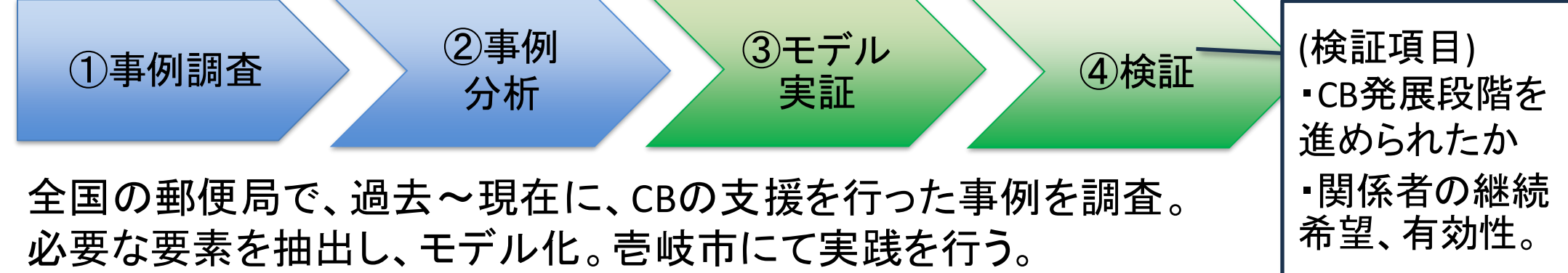


リサーチクエスチョン

RQA:郵便局が「コミュニティビジネス」支援の有効な主体となるために必要な要素は何か。

- RQB-1:CB支援をできている郵便局長が保有している要素はなにか。
RQB-2:郵便局が支援できるCBはどのようなものか。
RQB-3:郵便局によるCB支援モデルは、支援機能を発揮できるか。

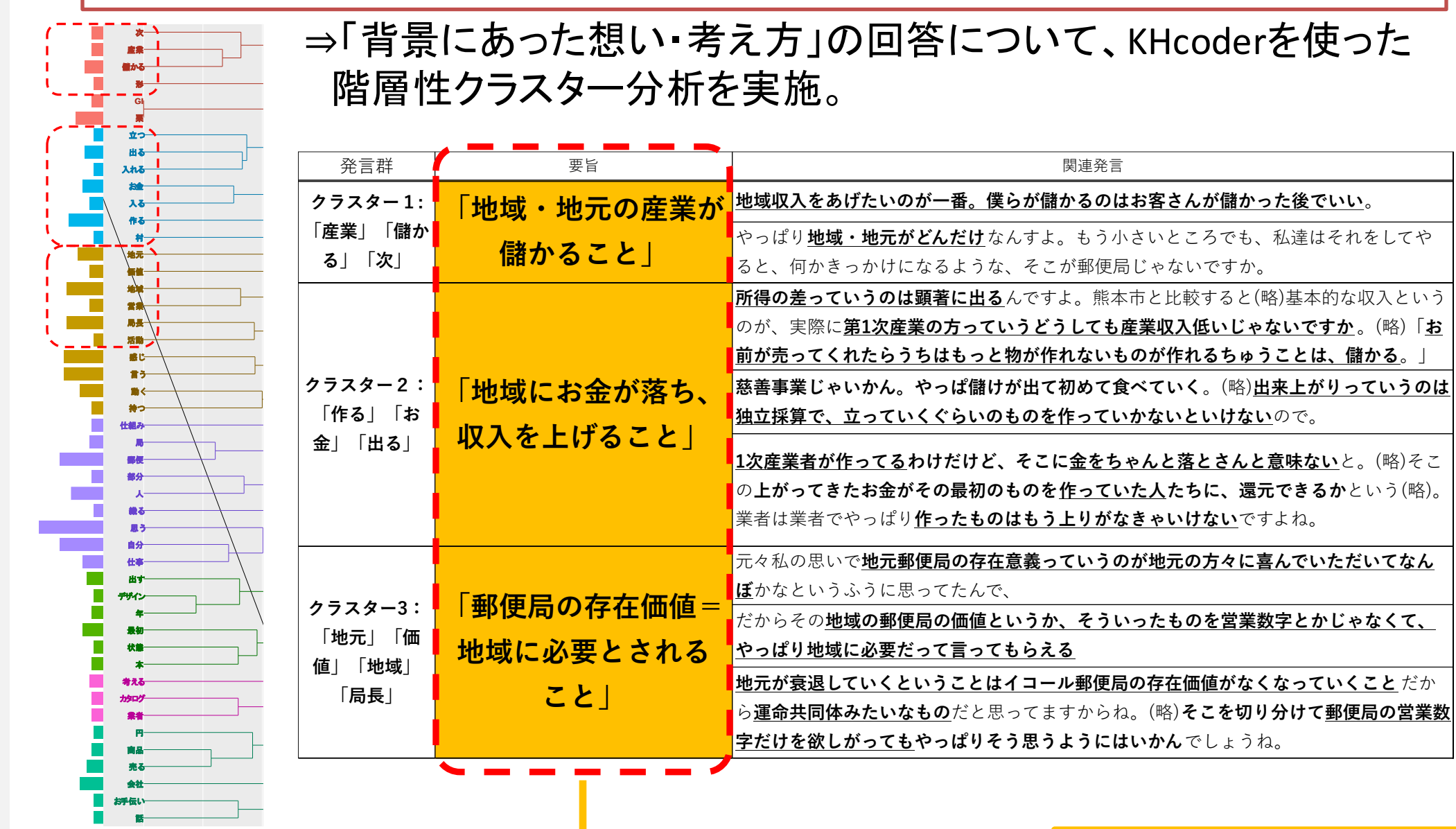
研究デザイン



事例調査

事例選定方法:Webサイト(全国郵便局長会「ユニークな郵便局」、日本郵便情報発信サイト「JPCAST」)及び機縁法にて選定したCB支援8事例10局を選定。
調 査 項 目:「局長の出身」「経歴・経験」「CB支援内容」「支援に至ったきっかけ」「背景にあった想い・考え方」「地域側の反応」(資料調査及び半構造化インタビュー(7/18現在:インタビュー済み4局))。

RQB-1:CB支援をできている郵便局長が保有している要素はなにか。

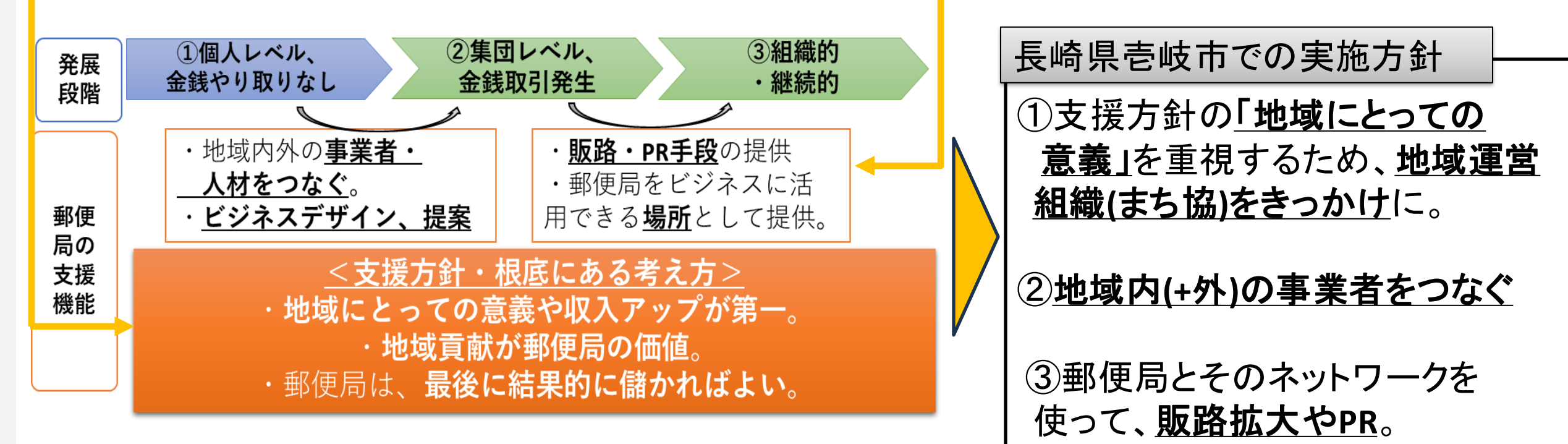


RQB-2:郵便局が支援できるCBはどのようなものか。

局名	概要	発揮している支援機能	きっかけ	支援の特徴①
青谷勝部郵便局	・ホテルの里風景印作成 ・写真コンテスト→ポストカードを作成・販売。 ・モニメント設置。	【場所】郵便局にモニメント。 【情報】地域のPR。	郵便局側からの提案	【人材】地域内外の事業者等とつなぐ(4事例)
西脇中本町郵便局	・三木染型デザインを使った播州織ネクタイづくり	【人材】地域内事業者をつなげる。 【情報】地域のPR。 【事業】郵便局で販路拡大。	郵便局側からの提案	支援の特徴②
山江郵便局・坂本郵便局	・県南の産品をカタログ化。関西地方の都市部の郵便局と九州地方でカタログ配布	【人材】地域内事業者をつなげる。 【情報】地域のPR。 【事業】郵便局で販路拡大。	郵便局側からの提案	【場所】郵便局を製造場所や販売拠点に活用。(4事例)
青葉台駅前郵便局・青葉台郵便局	青葉台局の屋上スペースを利用し、養蜂。	【場所】郵便局屋上に養蜂場設立。 【人材】養蜂家、NPO、行政をつなぐ。 【事業】商品販売も検討。	8月調査予定	支援の特徴③
陸沢郵便局	郵便局で干し芋製造	【場所】郵便局に干し芋製造工場設立。 【事業】郵便局で販路拡大。	9月調査予定	【事業】カタログ・ネット・店舗など販路の提供、地域外へのPR(7事例)
宇和海郵便局	・産品オンラインショップ、情報発信、ゲストハウス運営等。	【人材】地域内外事業者をつなげる。 【情報】地域のPR。 【事業】地域産品の販売・発送。	郵便局側からの提案	支援の特徴④
宮平郵便局	パイナップルから繊維を製造している企業と協業検討。郵便局に繊維加工工場を設立検討。	【場所】郵便局に加工工場設立計画。 【事業】配達員帽子にも使用。新たな販路。	8月調査予定	郵便局側から提案。(4事例)
沼木郵便局	まちづくり協議会への参画	8月調査予定	8月調査予定	

壱岐市でのモデル実践

上記で抽出したモデルで抽出した、支援方針・考え方と支援機能を発揮しやすいCBをモデル化し、長崎県壱岐市にて実践する。



<低利用食材のふりかけ開発>

- ①まち協の小学生向け授業提案をきっかけ。
- ②市場価値の低い「まめアジ」「規格外にんにく」等を使ったふりかけを開発中。
- ③郵便局・ネットショップでの販売を計画



<まち協製造の竹炭の販売改善>

- ①まち協で製造した竹炭。
- ②3Dプリンタ保持業者、石鹼事業主をつなぎ、竹炭・廃薬品ゆず皮を使ったシャンプー・バスボム(浮きの形)を開発中
- ③郵便局での販売を計画。

今後の展開

<CB製品の開発継続>

- ・ふりかけ...原料調達完了。販路拡大のためのネットショップ販売調整。ふるさと納税返礼品等を検討・
- ・シャンプーバー・バスボム...3D型製造。粉末加工業者探し中。

<場所支援の構築>

- ・芦辺郵便局の旧コミュニティスペースをCB支援拠点として、整備中。
- ・販売、情報発信拠点として活用予定。

<支援モデルの検証>

- ・CBの創出及び発展段階の進展が見られたか。
- ・CBで協業した事業者にも有効に感じてもらえたか、継続意向が出たか。
- ・地域住民に受入れられたか。